

すて〜じ通信



発行 平成 27 年 7 月 第 14 号

〒052-0014

北海道伊達市舟岡町334番地9 あい・ぷらざ1F

社会福祉法人北海道社会福祉事業団

胆振日高障がい者就業・生活支援センター すて〜じ

Tel / 0142-82-3930 fax / 0142-82-3933

E-mail / stage@dofukuji.or.jp

胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて〜じ

センター長 鹿野内 賢士

昨年度より検討議案となってきた、就労継続B型利用に伴う就労アセスメントについて、今年度より移行事業所のない地域及び利用が困難なケースにおいて、ナカポツ（障がい者就業・生活支援センター）での就労アセスメントが可能となりました。当センターにおきましてもその指示に従い、現在まで1件のケースを実施しており、今後に向けても2ケース程の依頼がある状況です。また、ナカポツマニュアルも近々提示されるとの情報もあります。しかし、ナカポツ間での意志統一がされていないのが現状であり、地域によっては対応が違うといった状況もあるようです。各ナカポツの地域性と事業体制等の違いや本制度の不備に対する様々な疑念があるため、統一的に共通した体制が難しいというのが現状です。当センターにおきましても実施ケースは、移行事業所同様の就労アセスメントは実施できておらず、試行的な最低限のアセスメント内容となっています。今後ナカポツマニュアルが提示されることで、当センターの現体制にどのような変更ができるのか不透明ですが、信念でもある

『必要とされる支援の実現』に向けて進んでいきたいと考えております。

先日、利用者支援と称して「オホーツクサイクリング～雄武町から斜里町までの212k～」に出場してきました。11年ぶりの参加で、初出走の1名を加え（経験者4名）5名で走ってきました。順位を競うレースではないもののグループで走る協調性と緊張感、忍耐や達成感など徐々に心地よく体感してきました。そんな中「疲労と暑さ」でリタイアする参加者もあり、一緒に行ったメンバーもゴール手前20kで「少し足が痛いし無理しないわ」と訴えたものの「もう少しだから、ゆっくりでも大丈夫だよ」と話しましたが、彼の口から「明日からの仕事に支障が出たら困るから」と。やめる勇気と職業人としての自覚に感心させられました。自分の楽しみの実現も仕事がベースであることをしっかり認識した考えに、自分自身、練習もせず、「昔取った杵柄」で腿が攣りそうになりながらも無理をしながら走っていた事に反省をしました。

積極的な姿勢としては「ハイペース」でしょうが、継続性を考えると「マイペース」が大切である事を知らされました。これからも彼らにとっての「生きがい」や「楽しみ」を実現できる職場環境の整備に心がけ、日々の業務に専念していきたいと考えています。心も体もリフレッシュさせていただきました。



大事なものを思い出しました!!





会議報告



■第1回胆振日高圏域就労移行支援事業所連絡会議（5月22日）苫小牧市民活動センター2F

1. 今年度すて〜じ体制

- ①出張相談の拡大（登別市（第3木曜日）・白老町（第2水曜日）・苫小牧市（第4水曜日・日高町（第1木曜日））
- ②「働く仲間の集い」室蘭市・苫小牧市・日高町・伊達市での開催

2. B型事業利用におけるアセスメントに関わる体制及び課題

- ・地域の実情に合わせた考え方を大事にしながら、ご本人の不利益にならないよう取り組んでいく
- ・ナカポツセンター会議等で情報交換しながら、アセスメント表の共有化を行っていく

3. 困難事例検討～アスペルガー症候群ケース

- ・就労意欲の低下、衛生・生活面での課題あり→支援者側が諦めずに根気よく付き合うことで継続につながる。

◆胆振日高事業所間の交流や意見交換の場となるよう初めて開催しましたが、ダイレクトB問題など事業所が直面している課題について活発な意見交換がされました。次回は来年2月を予定しております。



■第1回胆振日高障がい者雇用支援地域合同会議（6月25日）苫小牧市民活動センター1F

1. 今年度のすて〜じ体制（年間行事予定・出張相談の拡大・働く仲間の集い）についての説明

2. 行政報告～「障がい者雇用を取り巻く環境と今後の取組みについて」北海道障害者職業カウンセラー佐々木主任

3. 「障がい者就労支援地域モデル構築事業委託業務」～北海道PRセンター

4. 高等養護学校在学生のB型事業所利用に伴うアセスメントの流れについて～伊達高等養護学校 安井教諭

伊達市との連携によりアセスメントを行った事例の報告～すて〜じ 今野

◆職業センターの役割や障害者雇用促進法の改正や今後の障がい者雇用支援についてお聞きし、北海道PRセンターより、遠隔地問題等を抱えている道内6センターに対してモデル案の説明を受けました。今会議では、行政・就労、相談支援事業所・職親会など多くの方が参加して下さいました。次回は11月頃に、西胆振地区・東胆振地区・日高地区に分けての開催を予定しております。

■第1回「働くなかまの集い」（6月25日）in伊達市



同日、午後6時より、伊達市体育館サブアリーナにて開催しました。昨年度までは講義形式でマナーや健康管理などの理解を深めていましたが、今年度は「働き続けるために現在の自分の体力を知る」をテーマに健康管理についてのお話しの他に、自己の体力を知るための体力測定を行いました。立ち幅跳び・時間往復走・上体起こし・腕立て伏せの4種目の総合ポイントで現在の体力を測定しました。みなさん、息を切らしながらも真剣に取り組んでいました。

今後は、余暇活動的な要素を盛り込んだプログラムで室蘭市や苫小牧市、日高町でも開催する予定です。



《西部》

NPO 法人 ふれんず 〒052-0103 有珠郡壮瞥町字壮瞥温泉 73-12 ☎ / FAX 0142-75-3145



ふれんずは、壮瞥町壮瞥温泉の洞爺湖畔沿いにある就労継続支援 A 型事業所です。

現在利用定員 20 名に対して 24 名の方たちが日々作業に汗を流しております。

普段の作業は、農耕作業や木工製品作り、納品と販売までを行っています。また、発泡スチロールリサイクル作業や一般企業からの受託作業（製品の梱包・昆布の型抜き）、壮瞥町就労支援ネットワーク受託作業も行っています。

就労ネットワーク受託作業では、保育所園庭の草刈りや温泉ホテルの客室清掃・セッティングを利用者さん方が力を合わせて行っております。

《東部》

ホープフル・和(ガミ) 〒055-0006 沙流郡日高町富川南 1 丁目 6-26 ☎ (01456)2-2753 FAX 2-0302

初めまして、日高町にあります社会福祉法人愛光会ホープフル・和です。

ホープフル・和では就労移行支援と就労支援継続 B 型の事業を行っています。

就労移行支援は、6 名の定員で、現在 3 名の利用者様が 3 ヶ所の事業所（介護施設 1 ヶ所、飲食店、お菓子製造業）を通じ一般就労に向けて日々実習をしています。

就労支援 B 型は 20 名定員で、現在 20 名の利用者様が利用しております。

就労支援継続 B 型は 11 ヶ所の事業所と法人経営の中華料理五行山をつうじて、一般就労に必要な知識及び能力向上の為に日々頑張っています。

また、障がい者職親会を通じて花見・永年勤続表彰などの行事も行っております。



27年度 スタッフ紹介

①川村明美
②生活支援
④あっと言う間の3年間。今年度もよろしくお願いします。

③



アマガエル

①今野さおり
②就労支援
④今年度からすて～じの一員になりました。ケ.ケ.ケ!をモトに、前向きに取り組んでいきたいと思えます。

③



猫

①鹿野内賢士
②センター長
④本人の立場に立った支援を目指し、圏域での存在感をアピールできるよう、とにかく走ります!!

③



フクロウ

①猪股正寛
②就労支援
④今年で5年目に突入しました。これからもどうぞよろしくお祈いします。

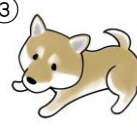
③



でめきん

①星 洋子
②生活支援
④障がいのある方の対応に少し慣れてきた今日この頃です。どうぞよろしくお祈いします。

③



くたびれた犬

①名前 ②担当 ③自分を動物に例えると ④ひとこと



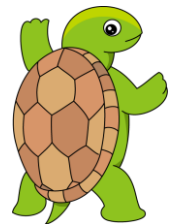
お世話になりました。

今年度4月より、慣れ親しんだ「すて～じ」から、宿泊型自立訓練事業所「旭寮」へ異動となりました。勝手が違うものですから毎日が新鮮であり、毎日が勉強の状態ですが、今までの経験が少しでもこれから地域へと出ていく皆様のお手伝いが出来ればと思ひ日々戦っております。

「すて～じ」開設以来6年間にわたり就業支援員として勤務させていただき道内センターのスタッフの皆様はもとより、各地のセンターの皆様に変にお世話になりました。

これからも研修会や会議等で顔を合わせることもあるかと思ひますので、今後ともよろしくお祈いいたします。事業所は伊達市内にありますので、お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

旭寮 小松 雄一



◆あとかぎ◆

6月の某土曜日の夜。幻の魚「イワ」を求めて道北に出発しました。今回はいつもの時間よりも早く出発できたので、ゆったりモードで高速道路を走っていました。しかし、白老インターチェンジを過ぎた時事件は起こりました。「ベストとジャケットを忘れた…」。「えっ??高速道路に乗っていますけど?!まさかのUターンですか?!」。仏頂面が無言のまま引き返しく～>…。そんな空気の中のひと言。「忘れ物した時ほど、大きいイワが釣れるんだよな～」。ポジティブな思考に怒っているのがバカらしくなっていました。気になる釣果は…有言実行。カライ!疲れも吹き飛び、笑顔いっぱい帰路につきました。

<<kon>>

